



★支部長雑感

最近、よく聞かれる「プレイヤーズ・ファースト」という言葉、聞かれるようになったのは、ここ数年來のことです。プレイヤーズ・ファーストを改めて調べてみると、興味深いネット記事に行き当たり、以下はその要約、引用です。

プレイヤーズ・ファーストは新しい言葉であり、2018年までには広辞苑にも載っておらず(2024年現在の状況は調べていません)、その概念に確定したものはないようです。プレイヤーズ・ファーストが国内で一番最初に使われたのは「選手育成」の理念においてですが、プレイヤーズ・ファーストはスポーツ界で不祥事が起きるたびに「選手第一」という大まかな概念で言葉として用いられるようになり、「選手育成」という発生当初の理念からはかけ離れた言葉の使われ方が現在に行われている場合があるそうです。甲子園で行われる夏の高校野球ですが、近年の酷暑から「屋外で酷暑にさらされ、熱中症の危険がある甲子園球場ではなく、空調のある京セラドームなどで出来ないのか?」といった意見があるそうです。その意見に対し、高野連幹部は「選手が甲子園でプレーしがつているから、プレイヤーズ・ファーストで甲子園で行う」といった主旨の見解を示したそうです。選手の意志を尊重するプレイヤーズ・ファースト(選手第一)としての見解を高野連は示しましたが、しかしプレイヤーズ・ファーストは元來は選手育成、選手を対象とした選手の周囲の意識です。元來に基づく観点においては、「甲子園球場はまだ子どもで判断が未熟であり、野球選手としての未来のある子ども達を最悪の場合、死や重度の障害の残る熱中症の危険にさらす甲子園一択は、逆にプレイヤーズ・ファーストに反する」という識者の意見もあるそうです。今回、要約、引用した記事においてはプレイヤーズ・ファーストは、厳密に言えば選手育成に基づく「プレイヤーズ・フューチャー・ファースト」との概念の定義付けを主張しています。

「プレイヤーズ・ファースト」=「プレイヤーズ・フューチャー・ファースト」

その理念は、ユニセフが提唱する「子どもの権利の尊重と推進にコミットする、などの「子どもの権利とスポーツの原則」に合致すると記事では示されています。プレイヤーズ・ファーストは新しい言葉であり、理念に基づく概念、定義が世間に浸透せず、ある意味乱用されている言葉ですが、「プレイヤーズ・フューチャー・ファースト」を意味合いとして含むことは至極妥当であり、個人的には「未来のあるスポーツ選手に向けての、選手の周囲が意識すべき概念」であるように思います。

私は空手指導者として武道的観念によるプレイヤーズ・ファーストを標榜しています。武道的観念によるプレイヤーズ・ファーストの意義としては、「プレイヤーズ・フューチャー・ファースト」であるところの「フューチャー、(未来)を、選手の競技上の未来のみと考えるのではなく、またプレイヤーズを競技に専心する選手のみと限定せず、プレイヤーズを全ての武道修練者と広義し、武道を学ぶ「全ての修練者の人生全般の未来を第一に考える」と私は定義します。

武道においては、競技(試合)は稽古の一環です。武道において競技者としてのプレイヤーは、すべからず修練者であり、修練者と競技者の区別はありません。武道の競技者(プレイヤー)は、修練者として稽古で真摯に身に付ける心・技・体を競技で正々堂々と試し、競技から得る結果、課題をまた稽古に持ち帰り自らを高めます。競技を稽古の一貫とし、あくまでも稽古を本願とする武道精神は、稽古(競技を含む)で身に付ける心・技・体を、自分の人生の未来(生き方)に反映させることを目的とします。現在52歳の私は、健康寿命を伸ばすため、自らの稽古を欠かさないようにしています。今の私自身の稽古には「過去に対戦した屈強な選手達のような相手を想定し、その相手をどうやって効かすか?」などの、今もって競技者時代(選手時代)に試合から持ち帰った課題が反映されています。これから先の私が試合に身を投じることなどなく、競技者時代の課題を今の自分の稽古に反映させることなど愚かしいことかもしれません。しかし漠然とした健康寿命を目的とする稽古よりも、競技者時代の経験が濃いだけに、競技者時代の課題を今の自分の稽古に取り組むことで、稽古への身の入り方が高まり、身の入った稽古から質の高い健康寿命が得られるように感じられ、同時に自分の未来に希望を感じることが出来ます。武道的観念によるプレイヤーズ・ファーストは、修練者の人生全般の未来を見据える意識です。新極真会徳島西南支部では「試合は稽古の一環、であることを明確に打ち出し、武道的観念によるプレイヤーズ・ファーストを標榜していきたい」と思います。

★information

◎稽古の休み 今回はお盆休みがあります。各道場、よく確認してください。

< 休み > 鴨島道場...8/3(土)・8/14(水)・8/17(土) 美馬道場...8/3(土)・8/15(木)・8/17(土) 徳島市加茂道場...8/13(火)
阿南道場...8/12(月)・8/17(土)・8/19(月) 三加茂道場...8/14(水)・8/16(金)

※稽古開始 2 時間前に、気象警報が発令の場合、稽古は休みとなります。また冬季は積雪により路面凍結の危険性がある場合も、稽古は休みとなります。その場合、個別連絡は行わずホームページにてご案内します。

◎代替稽古 <8/3(土)>

8/3(土)の美馬道場、鴨島道場がお休みのため以下のとおり代替稽古を行います。とき...8/3(土) 場所...鴨島道場
通常稽古...9時~10時 服装...道着(上着 T シャツ) 選手稽古...10時 15分~12時 15分(服装自由)

◎選手強化稽古 <8/13(火・お盆期間中)、中学生以上対象>

選手強化稽古を以下のとおり行います。今回の強化稽古は中学生以上を対象とします。
とき...8/13(火) 時間...10時~12時 場所...鴨島道場 服装...自由(スパーリングの準備要)

◎四国・岡山合同稽古 ※今回は西条市の西条市総合体育館です。前回のニュースレターでの案内と変更になりましたのでご注意ください。

四国・岡山合同稽古が下記のとおり開催されます。参加できる人は頑張りましょう!!
とき...9/1(日) 時間...11時~15時 30分 場所...西条市総合体育館(〒793-0003 愛媛県西条市ひうち 1-2)
服装...道着(上下着用) 稽古内容...型、技術練習、スパーリング、フィジカルトレーニング

◎昇級審査会、型稽古、組手強化稽古 <10/13(日)、鴨島東中学校武道場>

昇級審査会、型稽古、組手強化稽古を下記の日時に行います。昇級審査の受審希望者は指導員まで申出てください。また受審者は、同日の組手強化稽古への参加を条件とします。組手強化稽古はスパーリングのみの稽古となりますが、スパーリングは個人の体力・技量を配慮し、途中見学なども OK です。ただし稽古時間内での帰宅は認めません。途中見学をする場合も、稽古を最後まで見学してください。なお、型稽古への受審者の参加は任意です。今回の型稽古はゲキサイ小、ゲキサイ大、セイエンチン、サイファを行います。型稽古への参加制限はありません。

日時...10/13(日) 場所...鴨島東中学武道場 服装...道着(組手強化稽古はトレーニングウェアでも OK です)

< 型稽古 > 時間...9時~10時

< 昇級審査会 > 時間...10時 15分~11時 15分 受審料...8,000 円 申し込み締切...10/3(木)

< 組手強化稽古 > 時間...11時 30分~12時 30分

◎<大会案内> 第 37 回全関西空手道選手権大会(10/27(日)、新極真会・大阪東部支部主催)

第 37 回全関西空手道選手権大会が下記の通り開催されます。出場希望者は指導員まで申し出て下さい。とき...10/27(日)
場所...東和薬品 RACTAB ドーム(〒571-0015 大阪府門真市三ツ島 3 丁目 7-16) オンライン申込み期間...8/18(日)~8/31(日)

◎大会エントリーに際する支部内規定 ★各種大会に出場している道場生、保護者様、またこれから出場予定の方も必ずご一読ください。

体重別部門のある大会でのエントリーに際して、徳島西南支部ではプレイヤーズ・ファーストの観念から減量は認めず、また大会までの増量を考慮し、エントリー時点での現体重が部門規定体重より 2Kg 以上余裕がある場合に、その部門へのエントリーを可能とします(40Kg 以下までの部門の場合 38Kg 以下)。この規定は原則、年齢を問わずに全道場生に適用しますが、道場生選手のほとんどが成長期年齢であるところ厳格化しますので、道場生、保護者の皆様はご理解のほど、よろしくお願い致します。

また日曜日に大会があり、祝日である翌日の月曜日にも別の大会があるなど、まれに違う大会が連日につながる場合があります。そういった場合、選手の負担を考え、連日出場は不可とします。合わせてご理解のほど、よろしくお願い致します。